



# 「学び舎」の完成を祝う



## 南富良野中学校 新校舎落成記念式典・祝賀会

南富良野中学校（廣川信義校長 生徒数79名）の校舎の耐震化に伴い昨年3月から改築工事が行われていたが、このほど、旧校舎の取り壊しが完了したことから新校舎落成記念式典と祝賀会が行われました。同校は、平成17年4月に南富良野中学校が誕生（落合中学校・幾寅中学校・金山中学校・下金山中学校の4校を統合）しましたが、校舎は昭和49年に改築された旧幾寅中学校の校舎を引き継いで使用していました。



昨年11月に新校舎が完成し、旧校舎の取り壊し工事が完了したことから、南富良野中学校の校舎落成記念式典が同校体育館で行われ、生徒をはじめ学校や地域の関係者など167名が出席し、新しい学び舎の完成を祝いました。式典では、池部町長より「この新校舎は、環境にやさしくエコな学校で道内の学校では初めての木質バイオマスチップボイラーや町内初の太陽光発電施設を備えた環境教育を促す校舎です。バリアフリーに配慮した平屋建てで、生徒の皆さんや先生方もコミニ



ニケーションが図られやすい配置となっておりますので、本校の皆さんはこの新しい校舎を愛し、恵まれた教育環境のもとで、ますます勉学に励まれ、本町の担い手としてその基礎を培ってください」と式辞を述べました。続いて、佐々木薫町議会議長、菅沼肇北海道教育庁上川教育局長からの祝辞の後、こ



の度の校舎建設に携われた企業の方々に池部町長から感謝状を贈呈しました。  
感謝状受賞者  
○株式会社柴滝建築 設計事務所 様  
○北菱・永井特定建設 工事共同企業体 様  
次に中学校生徒会が司会進行を務め「新旧校舎に思いを寄せて」と題し、旧校舎や新校舎に関わられた方々への感謝とお礼を込めて、廣川校長が「これまでのすばらしい地域の伝統や風土を受け継ぎ、地域の中で愛される学校として期待に応え、信頼されるよう生徒や職員的心を一つにして努力いたします」と挨拶されました。  
また、生徒会を代表し熊谷大州生徒会長が「旧校舎は、冬の廊下は外のように寒く、1階は暗い部屋が多かったが、36年間1,208名を輩出した重み、古さゆえの温もり、落ち着く安心感のある校舎でした。新しい校舎の生活は、新しい木のおい、温かい廊下、太陽の光を感じています。この校舎で生徒全員が新たなよりよい歴史の一ページを刻んでいきます」と力強く誓いました。

最後に全校合唱や吹奏楽部による演奏、校歌が歌われ、会場内が一体となった式典に感銘を受けた方々も多く、新たな学び舎の始まりを共感していました。

その後、式典の余韻が残る中、会場を町保健福祉センターへ移行し、祝賀会が行われ地域をあげて落成を祝いました。



佐々木町議会議長



菅沼上川教育局長

## 新校舎落成を祝う中学校の皆さん



吹奏楽部の皆さん

全校生徒による合唱

## 新校舎見学会

南富良野中学校新校舎落成記念式典に先立ち、1月23日に参加者19名による新校舎見学会が行われました。町教育委員会事務局より新校舎の概要や特徴などが説明された後、廣川校長から「新しい校舎は、バリアフリーや環境教育に配慮されたすばらしい学校です。広い中央の多目的ホールや廊下に椅子が設置され、生徒同士や教師と生徒が気軽にコミュニケーションを深めることができ、好評です」と新校舎での日頃の様子などが話されました。

見学会では、全ての教室や部屋を見学し、特に扉の無い開放的な図書コーナーや設備の充実した特別支援教室、木質バイオマスチップボイラーが配置されたボイラー室などでは、「すごいね」と参加者同士最新の設備や造りに驚いていました。それぞれの時代の学校の様子を回顧し、「校長室にはじめて入りました。いい思い出になりました」と話されている参加者もおりました。



校長室

ボイラー室

コンピューター室